

ま　え　が　き

本校は、国立工業高等専門学校の第一期校の一つとして昭和 37 年度に設立されて以来、5 年間一貫の技術者教育（準学士課程）を基本に据え、社会的要請に対応した学科新設や再編を行なながら、創造力と実行力を持つ実践的な技術者の養成に努めてきています。また、平成 16 年度に専攻科が設置されたことに伴い、学士の学位を取得できる 2 年間の技術者教育（専攻科課程）を実施してきています。さらに、準学士課程 4、5 年生の教育と専攻科課程の教育とを有機的に連携させることで編成された「複合型システム工学教育プログラム」により、準学士課程で培う得意専門分野でのしっかりした専門基礎の上に、専攻科課程では、異なる専門分野にまたがる複合的視野を有し、豊かな創造性を有する「上級技術者」を養成する教育を推進してきています。この複合型システム工学教育プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定審査を受け、現在その結果待ちです。合格となることを期待していますが、合格となればこの教育プログラムは「国際的な標準に適合した技術者教育の水準にある」と国際的に認められることになります。本校は、技術者教育・養成とともに、产学連携・地域連携の推進を重要な任務の一つと位置づけていますが、地域共同テクノセンターがその中核を担い、種々の活動を開拓してきています。

本校がその設置目的や目標等に沿って機能しているかどうかを評価するとともに、改善すべき課題を認識し、課題解決に向けて行動を起こすきっかけとするために、平成 16 年度から組織的な自己点検評価を実施し、その結果を平成 17 年 9 月に報告書（「自己点検・評価報告書—函館高専の現状・課題と改善の方向についてー」）として取りまとめ、公表するとともに、北海道大学副学長 佐伯 浩 委員長をはじめとする外部評価委員の皆様のお力を賜り、この自己点検・評価報告書に基づく外部評価を実施していただき、平成 18 年 3 月に「外部評価報告書」として取りまとめ、公表いたしました。この両報告書には、本校が改善のために取り組むべき多くの課題が盛り込まれておりました。本校では、その後、課題解決のための多くの改善努力を積み重ねてまいりました。

本年度は、本校が自ら認識して平成 17 年 9 月に公表した自己点検・評価報告書に記した課題、およびその後外部評価委員の皆様から頂戴したご意見やご提示いただいた諸課題について、どのような改善努力が払われ、どのような状況にあるかを評価するために、自己点検・評価を実施し、平成 19 年 2 月に報告書（「自己点検・評価報告書—平成 18 年度の改善状況ー」）として取りまとめ、公表したところです。さらにこれに基づき、再度、外部評価委員の皆様にご評価をいただくことといたしました。

本報告書は、本年度実施した自己点検・評価と外部評価について、その結果を取りまとめ、公表するものです。多くの皆様にご一読賜り、ご評価・ご意見を頂戴したいと存じております。よろしくお願ひ申し上げます。

本報告書を取りまとめるにあたり、佐伯委員長をはじめ外部評価委員の皆様には誠にご多忙の中にもかかわらず、ご協力を賜りました。頂戴した貴重なご意見をも踏まえ、今後とも自己改革努力を積み上げる所存であります。委員の皆様のご尽力に心より感謝を申し上げる次第です。